

2019年森林インストラクターしずおか・研修会

段戸裏谷・きららの森、及び鳳来寺山(2019.10.29~30)

段戸裏谷原生林

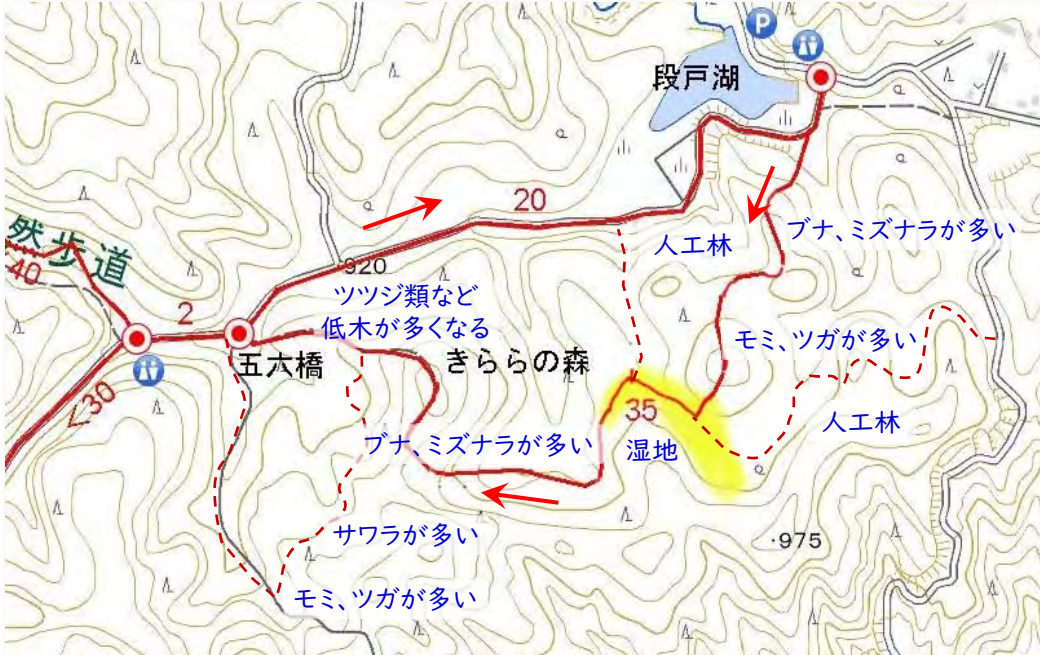


ブナの原生林

奥三河、設楽町の西に段戸山とも呼ばれる鷹の巣山があり、その南西は裏谷と呼ばれている。ここに段戸裏谷・原生林があって、「きららの森」として整備されている。(「きらら」の名は、雲母が産することによる。)この森は愛知県下では最大規模の原生林で、ここには太平洋型ブナを中心に、樹齢200年を越えるモミヤツガ、ミズナラなどの巨木が生えている。

現地の標高は900mほどだが、小さな段戸湖を中心に、周囲を標高1000~1200mの低山に囲まれた窪地のような所である。林内には原生林や湿地、それに尾根道を巡る遊歩道が整備され、また東海自然歩道が園内を通っている。

ここは山深い場所でアクセスも良くないが、新東名を使えば2時間半程度で行けるので、今回の研修場所として選んでみた。また奥三河は地質的にも特徴があって、鳳来寺山、乳岩峽など、静岡とはひと味違う自然を見ることができるとも魅力である。そこで今回の研修では、その鳳来寺山にも立ち寄ってみることにした。



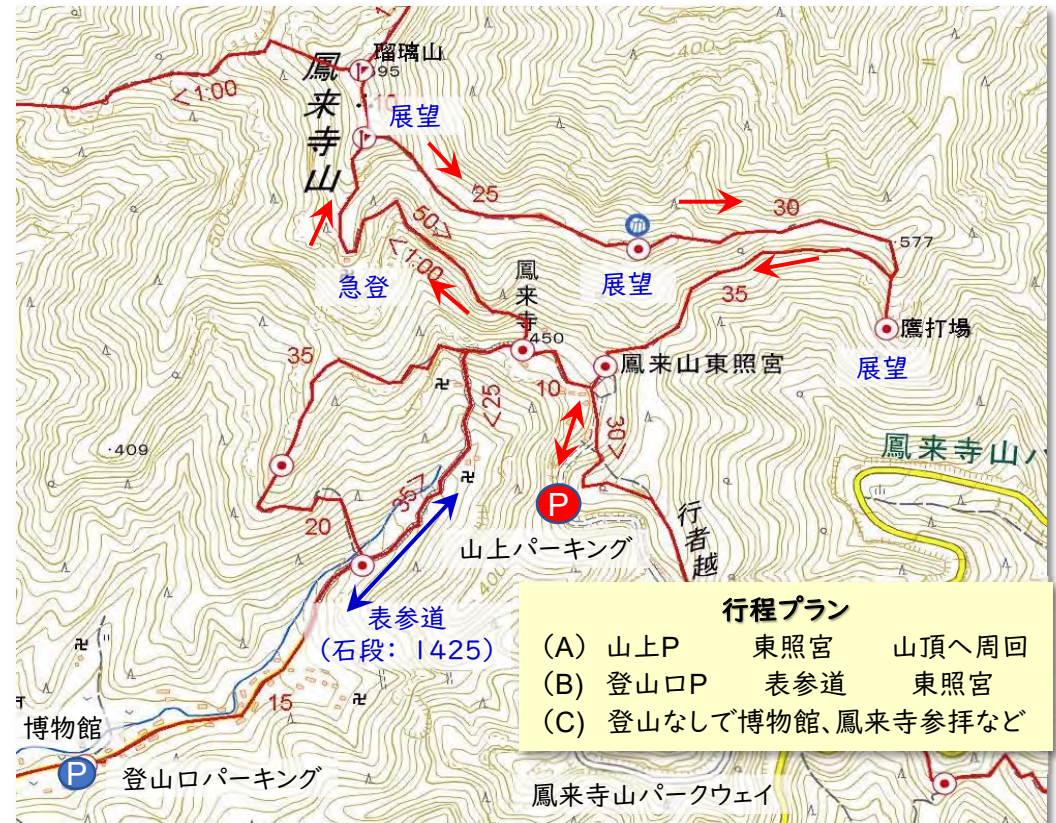
鳳来寺山



中腹の本堂の手前に聳える鏡岩。
ガラス質を多く含む流紋岩で、光沢がある。

三河湾で大きく北に曲がった中央構造線は、鳳来寺付近を通って北上してゆく。それゆえここでは三波川変成帯と領家変成帯という、大きく異なる岩質が接している。このため様々な変性を受けた堆積岩と火成岩が入り交じり、複雑な地質が生まれた。例えば雨生山周辺では蛇紋岩、鳳来寺山付近では流紋岩や頁岩が、また宇連川では川床の凝灰岩などが独特の景観を作り出している。

このため植物相にも独特のものがあり、この一帯には「ミカワ」と名のつくものが沢山ある(草本が中心)。今回の鳳来寺山の森は、寺社で保護されてきたためその多くが天然林であり、モミ、ツガなどの林になっている。ただ、段戸裏谷に比べると暖地になるので、ブナやミズナラに代わって、照葉樹が多く入り交じっている。一方、山頂付近は岩の露頭が多く、多種のツツジ類などが見られる。また岩場の続く尾根筋からの眺望も素晴らしい。



行程プラン

- (A) 山上P 東照宮 山頂へ周回
- (B) 登山ロP 表参道 東照宮
- (C) 登山なしで博物館、鳳来寺参拝など

鳳来寺山パークウェイ

段戸裏谷のコース沿いで見られた樹木のリスト(10.21下見: 杉山、小久保)

出現頻度について	◎	全般に非常に多い	
	○	所々にあって、比較的多い	
	●	少ない、または限定した区域	
	△	非常に少なく、1~2ヶ所	
種名はアイウエオ順		※ 科名はAPG体系による。	
種名	頻度	科名	コメント
アオダモ	△	モクセイ	何アオダモ?
アオハダ	○	モチノキ	短枝が発達
アカシデ	◎	カバノキ	樹皮に筋状の模様、葉は小さめ
アズマシャクナゲ	●	ツツジ	多分、植栽? キョウマルシャクナゲかも?
アセビ	◎	ツツジ	
アブラチャン	○	クスノキ	
アワブキ	○	アワブキ	側脈が多い。冬芽は複数の裸芽
イタヤカエデ	△	ムクロジ	林道
イヌシデ	●	カバノキ	
イヌツゲ	○	モチノキ	
イロハカエデ	○	ムクロジ	コハウチワカエデと似ていて迷う個体もある
イワガラミ	◎	アジサイ	
ウツギ	○	アジサイ	
ウラジロノキ	○	バラ	粗い鋸歯で丸みを帯び、葉裏は白っぽい
ウリハダカエデ	○	ムクロジ	
ウワミズザクラ	●	バラ	落枝痕がポイント。蜜腺が葉柄にはない
エゴノキ	○	エゴノキ	
オオカメノキ	○	レンプクソウ	
オオミヤマガマズミ	●	レンプクソウ	先が尖って伸び、普通25対以上の鋸歯
カナクギノキ	△	クスノキ	丸い花芽、クロモジより樹皮がザラザラ
ガマズミ	△	レンプクソウ	
カマツカ	○	バラ	果実が残っているものもある
キハダ	△	ミカン	
キリ	△	キリ	
クマシデ	△	カバノキ	
クリ	●	ブナ	林道
クロモジ	●	クスノキ	林道

コシアブラ	◎	ウコギ	
コハウチワカエデ	○	ムクロジ	
コハクウンボク	●	エゴノキ	幼木も見られる、五六橋手前の峠付近
コバノガマズミ	△	レンプクソウ	林道
コミネカエデ	○	ムクロジ	
サルトリイバラ	●	サルトリイバラ	刺の目立たない個体もある
サルナシ	△	マタタビ	林道
サワラ	○	ヒノキ	白色の気孔帯がはっきりしない個体が多い
シキミ	○	マツブサ	案外大きな木が多い
シロモジ	◎	クスノキ	3裂する切れ込みが深い
スノキ	○	ツツジ	2mくらいの個体も
ソヨゴ	●	モチノキ	
タカノツメ	○	ウコギ	
タムシバ	△	モクレン	歯磨き?ガム?の香りと甘い味
タンナサワフタギ	◎	ハイノキ	葉脈が葉裏に突出、樹皮が白っぽくザラザラ
ツガ	◎	マツ	葉は葉柄に対し直角に近く曲がる、
ツタウルシ	○	ウルシ	もう綺麗に紅葉している
ツノハシバミ	△	カバノキ	葉縁は不揃いの重鋸歯
トチノキ	○	ムクロジ	小葉に鋸歯
ノリウツギ	●	アジサイ	林道
ハリギリ	○	ウコギ	
ヒナウチワカエデ	△	ムクロジ	多分、林道
ヒノキ	◎	ヒノキ	サワラもかなり交じっている?
ヒメシャラ	△	ツバキ	
ブナ	◎	ブナ	巨木も多い
ベニドウダン	●	ツツジ	多分(少なくともサラサではない)
ホオノキ	◎	モクレン	葉の縁は全縁
ミズキ	●	ミズキ	
ミズナラ	◎	ブナ	
ミズメ	○	カバノキ	
ミツバツツジ	●	ツツジ	トウゴクミツバかも
ミヤマシキミ	○	ミカン	果実と蕾が同時に見られるものもある
ムラサキシキブ	○	シソ	果実が見られる
モミ	◎	マツ	巨木が多い
ヤブデマリ	●	レンプクソウ	林道
ヤマコウバシ	●	カバノキ	林道
ヤマザクラ	○	バラ	
リョウブ	◎	リョウブ	